

テーマ	『不登校（発達障害のある児童）へのアプローチ』
------------	--------------------------------

1 達成に向けた手立て

- ・ 児童生徒のアセスメントを実施する。
- ・ 関係機関とのケース会議を開催する。
- ・ 家庭訪問等を通して保護者・児童との関係づくりをする。

2 取組の成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 週1回の家庭訪問を通して保護者・児童との関係や信頼を深めることができた。また、役場の子ども課職員と一緒に月1回の家庭訪問をすることにより行政機関との関係も少しずつ深めることができてきた。 ○ 児童（小5女兒）は、2年余りの引きこもりから現在は少しずつ外に出られるようになり、現在は家の外に出て 30分程度一緒に散歩できるようになった。最近では、拒否反応があった学校の運動場に入り、ブランコに長い時間乗って遊べるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 療育手帳の更新ができていないため、更新を促しているが、保護者は更新の必要性を感じていない。 ● 児童が引きこもっているため、医療機関を受診することができない状況がある。 ● 児童は家の外に出ることができるようになったので、今後は車に乗って遠くの公園に行くことを目指すとともに、最終的には医療機関受診につなげ、療育手帳の更新や放課後デイサービス、訪問看護などの福祉サービスの利用につなげていきたい。

3 次年度に向けて

- ・ スモールステップではあるが、保護者や児童との関係をさらに深め、児童の特性を考慮しながら最終的には医療機関受診につなげ、行政と連携しながら療育手帳の更新や放課後デイサービス、訪問看護などの福祉サービス利用につなげていきたい。